



春のおでかけ 旧徳島城表御殿庭園

私のおすすめ
庭園の魅力

根津 寿夫 館長



◀旧徳島城表御殿庭園について
詳しくはこちらから

大名蜂須賀家の歴代の殿様が暮らした居間や表御殿の書院に面して造られた、旧徳島城表御殿庭園は、桃山様式を顕著に残すものとして昭和16年12月13日に国の名勝に指定されました。武将で茶人の上田宗箇作庭とされる枯山水と築山泉水庭からなる回遊式の大名庭園です。

枯山水

南側に位置する巨石を大胆に用いた庭園。鶴島(右)から亀島(左)に架けられた全長10.5mの青石橋が見どころです。



中央に見える割れは初代藩主蜂須賀至鎮が徳川家より輿入れした氏姫から毒を盛られ、悔しくて地団駄を踏み割ったという伝説があります。



亀島
石が斜めに立ち亀の頭を連想させます。



鶴島
上向きに尖った石が羽を広げた鶴を連想させます。

右側から見てみると

築山泉水庭

北側に位置する実際に水のある庭園。波濤を表現した石組みが見事です。石伝いに池を渡る楽しみ方もあります。



💡 東側にある堀川から水を引いていたので、満潮干潮時の水位の変化に対応できるようにたくましい石組です。

探してみよう

探検気分歩いて庭園の魅力を探そう! ……

びやくしん 柏楨



仙人を象徴する木。現存するのはこの1本のみ。

陰陽石



子孫繁栄を願って設けられた。

徳島城博物館内も見どころがたくさん!

常設展示室

徳島藩と蜂須賀家に関する内容を藩政の変遷、大名のくらしと文化、城の構え、城下町のくらし、阿波水軍の活躍の5つのテーマで構成。



△徳島藩御召鯨船 千山丸(国指定重要文化財)



△徳島城御殿復元模型(縮尺50分の1)



△第4展示室「城下町のくらし」

企画・特別展示

徳島や蜂須賀家、日本の近世近代の歴史文化に関して様々な角度からテーマを設け、企画展示は年4回、特別展は年2回開催。



△春の企画展「ひな人形の世界」開催の様子



△学芸員の皆さん

【所在地】徳島町城内1番地9

【開園時間】9:00~17:00(入園は16:30まで)

【休園日】毎週月曜日(祝日は開館)、祝日の翌日、年末年始

【入園料】大人(12歳以上)50円、小人(6~12歳未満)30円

【問い合わせ先】公園緑地課(☎621-5295 ☎621-5273)

徳島城博物館(☎656-2525 ☎656-2466)

旧徳島城表御殿庭園は、殿様が政治を行った表御殿に面して設けられたので、この名があります。殿様の庭として大切にされてきた徳島の宝物です。庭園の隣にある徳島城博物館は、徳島藩と藩主蜂須賀家の資料を展示する専門館です。1年に6回、学芸員が工夫を凝らした展覧会を開催するなど、いつでも蜂須賀家の歴史や美術を楽しむことができるのが魅力です。徳島城博物館ボランティア友の会会員のガイドを聞きながら庭園と博物館をご見学ください。思わぬ発見があるかもしれません。ご来館をお待ちしています。



徳島市立徳島城博物館
根津 寿夫 館長

▶4面にも徳島城博物館イベント情報について掲載